

生物資源科学部教職課程教育方針

【ディプロマ・ポリシー（教職課程修了／教員免許取得時に達成すべき到達目標）】

日本大学生物資源科学部所定の単位を修得し、高い倫理観と豊かな教養を身に付けた上で、グローバルな視野と生物資源科学に関する高度な専門性を有した者、学校教育に携わる者として教育の基礎理論に基づいた課題解決力のある実践性を身に付けた者、または、教育現場における協働的活躍が期待できる者と認められることが必要である。具体的には、以下の資質と能力を得ていること。

《広い視野と高度な専門性と実践的な指導力》

1. 地球環境を取り巻く諸問題に対し、グローバルな視野と高度な専門性をもって問題解決能力を発揮できる。
2. 自然科学または社会科学の諸領域に関して、確かな学力と高度な教育実践指導力を身に付けている。
3. それぞれの専門科目（理科，農業科，水産科，公民科）の面白さや有用性を十分理解し、生徒に正確に伝えることができる。
4. フィールドサイエンス教育を実践できる教員として、実験・実技授業を積極的に展開できる。

《強い使命感と責任感及び豊かな人間力》

1. 生徒とともに成長し、「学び続ける教員」としての姿勢を身に付けている。
2. 自己研鑽力を維持し、積極的に新しい教育手法を取り入れ、授業改善に努めることができる。
3. 生徒理解に努め、発達段階に応じた心を通わせるコミュニケーション能力を身に付けている。

《他者との適切な信頼関係を築く能力》

1. 教育現場において、「チーム学校」の一員として協働的な貢献ができる。

2. 生徒との関係はもとより、教職員及び保護者、地域の関係者と協働的關係を築くことができる。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）】

優れた教員として十分な資質を具えた教員育成のため、各学科においては以下の目的に基づいて教育課程を編成する。

生命農学科： 植物の栽培管理および環境保全に関する知識や技術を活用して、生徒が自然事象に知的好奇心を持ち、農業を取り巻く社会的環境を理解し、主体的に課題を発見して理論的に対応する発想力をもつ生徒を育成することができる能力の修得

生命化学科： 「生命」「食」「環境」に関する専門知識に基づいた教育を行う理科・農業担当教員を育成するための、自ら課題を探求し解決する能力や幅広い教養の修得

獣医学科： 理科系教養科目である物理学，生物学，化学，地学に加え，獣医師に必要な高度生物学としての基礎獣医学，すなわち，さまざまな動物の体の仕組み・機能に関する専門知識を基盤とした獣医師ならではの理科教育能力の修得

動物資源科学科： 動物を通じた「生命科学」「生産と利用」「ヒトと環境の関わり」の観点を基盤にした，幅広い自然科学および農学の専門知識とその経験によって得た実践力を理科・農業科担当教員として広く活用できる能力の修得

食品ビジネス学科： 農業・食品産業界に生じている諸問題を発見し，生徒と一緒にその解決の方策を考えられる教員を目指し，生きて行くために欠かせない食の生産，流通，消費を中心とした経済社会全般に関わる知識の修得

森林資源科学科： 人類の生存に不可欠な森林について，生物・環境・共生・利用・木材工学・木材化学に関する講義や実習，実験を通して得られる知識と，これを応用して理科・農業科教育に貢献できる能力の修得

海洋生物資源科学科： 多様な海洋生物の基礎的事項を理解し，生物資源としての重要性を説明できる学識と，生産・利用科学，環境科学，生命科学の視点から，より深く学ぶことによる海洋生物資源の持続的な利用と生産の知識を理科・水産科教育に活かすことができる能力の修得

生物環境工学科： 生物生産における土木・建築・機械の応用技術，生物生産・人間生活における生物資源の活用技術，環境の計測・制御のための技術，動植物の生息生育に配慮した自然環境の保全・修復技術を理科教育に活かすことができる能力の修得

食品生命学科： 中学校および高等学校の理科指導に不可欠な専門科目と，その背景にある科学的事象に対する高い知識の修得，基礎科目，食品生命学に関連した応用科目および実験を通して，問題意識に基づき考究する姿勢と技能および，体系的な授業実践力の修得

国際地域開発学科： 「農業・農村開発」・「グローバルビジネス」の2コースと農業・環境・アグリ

ビジネス・貧困削減および共生からなる開発課題プログラムに基づく社会（公民）および農業科教育に必要な理論・知識の修得

応用生物科学科： 遺伝子・細胞・組織レベルにおける生命現象を分子の言葉で理解し、説明できる能力と、多様な知識を基にして論理的に思考し、自分の考えを効果的に伝える能力を活かし、理科教員として生徒の思考力、判断力、表現力を育成できる能力の修得

【アドミッション・ポリシー（教職課程履修開始段階の資質）】

生物資源科学部教職課程では、高等学校（理科・農業科・水産科・公民科）・中学校（理科・社会）において、新たな教育課題に対応できる優れた資質・能力をもった教員を目指す学生を広く受け入れます。特に、教育への情熱をもち、人間の成長・発達について関心が高く、生徒に対する教育的愛情をもっている学生を求めます。また、生物資源科学部における学習・研究活動によって、地球環境を取り巻く諸問題に対する関心を抱き、応用力を身に付けることで、自然科学的または社会科学的な見方・考え方を生徒とともに深めていく教育に意欲的に取り組む姿勢をもった学生の修学を求めています。

このアドミッション・ポリシーの理念に鑑みれば、教職課程の履修を始める学生は、初年次から自然科学系または社会科学系の一般教育科目を幅広く積極的に履修し修得することも求められます。